

平成 31 年度（令和元年度）

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

令和元年 7 月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3

II 調査結果

1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《中学校第3学年 社会》	12
《中学校第3学年 理科》	14
2 質問紙調査結果	16
《小学校第4学年》	16
《小学校第6学年》	20
《中学校第3学年》	22
《小学校教員》	24
《中学校教員》	26

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導法の改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	201 校	201 校	82 校
実施児童生徒数	9,247 人	9,857 人	9,334 人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科	社会・理科
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,289 人	4,904 人	2,519 人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	68 校	32 校
実 施 教 員 数	1,089 人	704 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成31年4月17日（水）

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

※ 正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

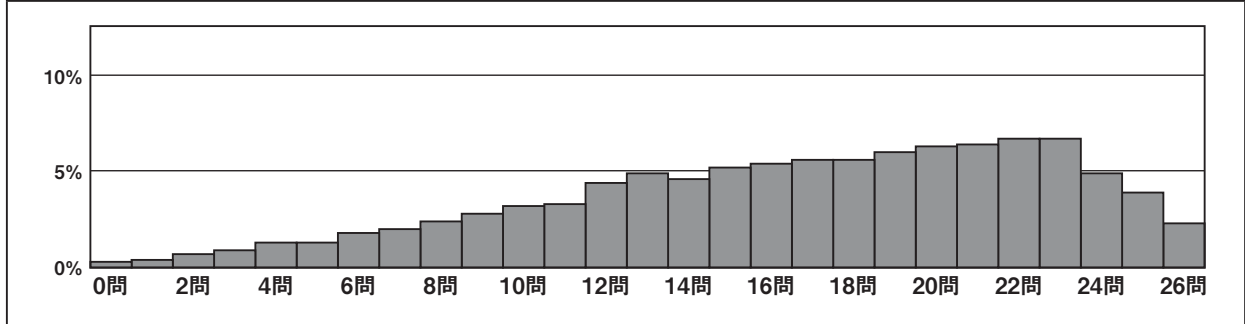
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

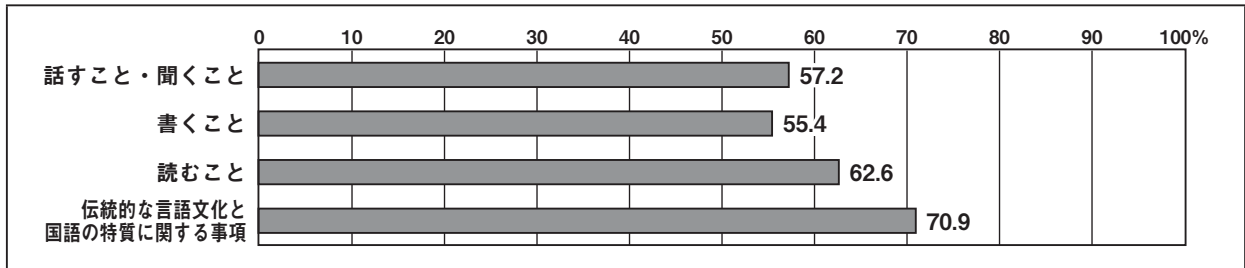
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,286 人	65.2%	16.9 問 / 26 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 七③	漢字の読み (明ける)	97.9
2 三4(1)	間違いを正す	92.4
3 三1	国語辞典の使い方	86.2

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 一3	聞き方の工夫	23.2
2 八2表記	句読点を正しく使用する (表記)	40.6
2 三4(2)	主語と述語の照応関係	40.6

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 一3	聞き方の工夫	12.8
2 八2内容	目的に応じて適切に書く (内容)	10.9
2 八2表記	句読点を正しく使用する(表記)	10.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[話すこと・聞くこと]

- ◇：目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと〔一1〕
- ▼：話の中心に気を付けて聞き、分からない点や確かめたい点を質問すること〔一3〕

[書くこと]

- ◇：文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように書くこと〔八2条件〕
- ▼：書こうとすることの中心を明確にして書くこと〔八2内容〕

[読むこと]

- ◇：目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読むこと〔二1〕
- ▼：中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、読むこと〔二2〕

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- ：指示語が文と文のつながりに果たす役割を理解すること〔三3〕
- ▼：主語と述語との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと〔三4(2)〕

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合（％）			
			国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	正 答 率	誤		無 解 答
									正 答	準 正 答	
一	話すこと 聞くこと	話し方の工夫		○			74.1	74.1	0.0	25.2	0.7
		話し方の工夫	○	○			52.6	30.0	22.7	43.0	4.4
		聞き方の工夫	○	○			23.2	21.0	2.2	64.0	12.8
		話し方の工夫	○	○			78.8	78.8	0.0	19.6	1.6
二	読むこと	説明的文章の内容理解				○	75.1	75.1	0.0	19.9	5.0
		段落相互の関係				○	55.8	55.8	0.0	41.9	2.3
		段落相互の関係	○			○	61.1	61.1	0.0	31.5	7.5
		説明的文章の内容理解と活用	○			○	58.3	46.5	11.7	33.5	8.2
三	※	国語辞典の使い方				○	86.2	86.2	0.0	11.5	2.3
		国語辞典の使い方				○	66.3	66.0	0.3	25.9	7.8
		指示語				○	84.0	84.0	0.0	10.1	5.9
		間違いを正す				○	92.4	81.2	11.2	1.7	5.9
		主語と述語の照応関係	○			○	40.6	30.2	10.4	49.1	10.3
四	※	修飾と被修飾の関係				○	52.5	52.5	0.0	37.9	9.7
五	※	ローマ字の書き（わさび）				○	46.3	46.3	0.0	44.6	9.1
		ローマ字の読み（syasin）				○	83.7	83.7	0.0	9.1	7.2
		ローマ字の読み（hakken）				○	73.2	73.2	0.0	17.2	9.6
六	※	筆順（馬）				○	45.2	45.2	0.0	51.6	3.1
七	※	漢字の書き取り（かぞく）				○	71.1	71.1	0.0	26.6	2.3
		漢字の書き取り（したしい）				○	70.4	70.4	0.0	20.5	9.1
		漢字の読み（明ける）				○	97.9	97.2	0.7	0.6	1.5
		漢字の読み（期待）				○	83.0	83.0	0.0	11.0	5.9
八	書くこと	必要な事柄を調べる				○	56.4	56.4	0.0	37.3	6.3
		文章全体における段落の役割(条件)	○		○		78.2	78.2	0.0	10.9	10.9
		目的に応じて適切に書く（内容）	○		○		46.6	46.6	0.0	42.6	10.9
		句読点を正しく使用する（表記）				○	40.6	40.6	0.0	48.6	10.9

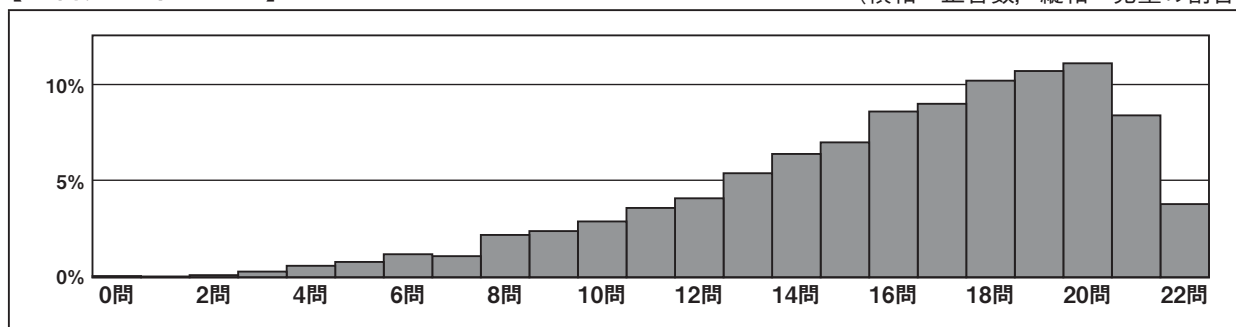
※伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

《小学校第4学年 算数》

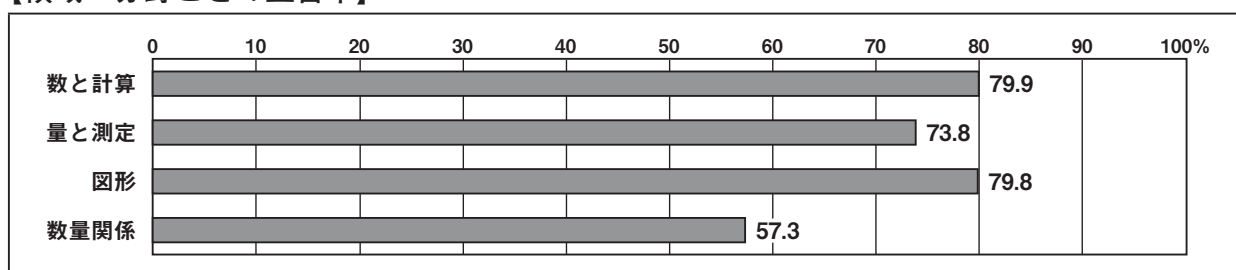
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,288人	72.9%	16.0問 / 22問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(1) 小数の相対的な大きさ	96.2
2	1(1) 波及的繰り上がりのある加法計算	95.3
3	1(3) 整数-分数	94.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(2) グラフの読み取りを根拠とした正しい理由の説明【理由】	30.2
2	5(2) 帰納的な考え方をを用いて見いだしたさまりの説明【事実】	30.6
3	2(3) 分数の意味と表し方	48.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(2) 帰納的な考え方をを用いて見いだしたさまりの説明【事実】	18.3
2	3(1) 除法・乗法を根拠とした判断の理由の説明【理由】	15.2
3	8(2) グラフの読み取りを根拠とした正しい理由の説明【理由】	14.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【数と計算】

- ◎：基本的な四則計算をすること〔1(1)(2)(3)〕
- ▼：分数の意味と表し方を理解すること〔2(3)〕

【量と測定】

- ：全体・容器・正味の重さの関係を読み取ること〔2(6)〕
- ▽：時刻を読むこと〔7(1)〕

【図形】

- ：直角二等辺三角形を用いて、図形を構成したり分解したりすること〔2(2)〕
- ◇：コンパスの使い方について理解すること〔3(2)〕

【数量関係】

- ◇：思考モデルから解決方法を読み取り、他の場合へ適用すること〔4(1)〕
- ▼：グラフの読み取りを根拠とした、正しい理由を説明すること〔8(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

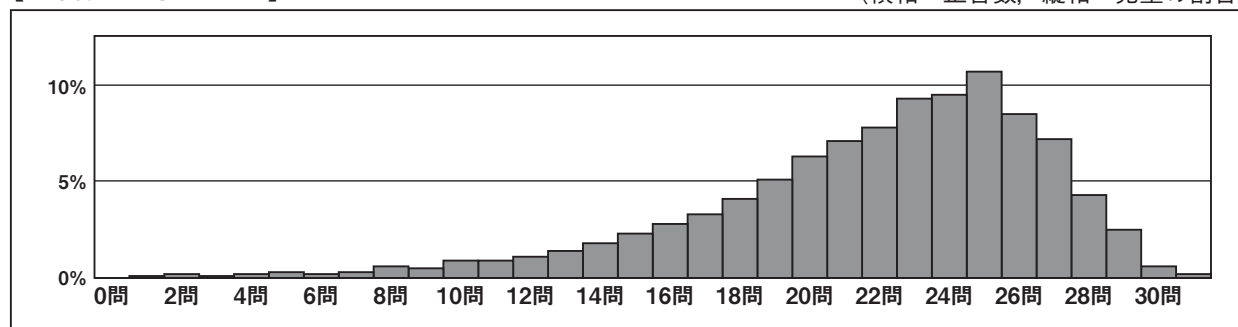
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			算数への 関心・意欲・ 態度	数学的な 考え方	技能 数量や図形に ついての	数量や図形に ついての 知識・理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	数と計算	(1)	波及的繰り上がりのある加法計算			○						
		(2)	波及的繰り下がりのある減法計算			○		91.5	91.5	0.0	8.3	0.2
		(3)	整数－分数			○		94.9	94.9	0.0	4.5	0.6
		(4)	小数－整数			○		84.2	84.2	0.0	12.1	3.7
		(5)	3位数×2位数			○		89.0	89.0	0.0	10.8	0.2
2	数と計算	(1)	小数の相対的な大きさ			○		96.2	96.2	0.0	3.5	0.3
	図形	(2)	直角二等辺三角形の敷き詰め			○		88.0	88.0	0.0	11.3	0.7
	数と計算	(3)	分数の意味と表し方			○		48.4	48.4	0.0	51.4	0.3
		(4)	乗法の式で求められる問題の選択			○		67.4	67.4	0.0	32.3	0.3
	数量関係	(5)	二つの数量の倍関係		○			64.4	64.4	0.0	34.3	1.3
	量と測定	(6)	全体・容器・正味の重さの関係		○			80.0	80.0	0.0	19.3	0.7
3	数と計算	(1)	除法・乗法を根拠とした判断の理由の説明【理由】	○	○			55.3	38.1	17.3	29.5	15.2
	図形	(2)	コンパスの使い方の理解			○		74.4	74.4	0.0	23.6	2.0
4	数量関係	(1)	思考モデルから解決方法を読み取り、他の場合への適用	○	○			70.4	69.4	1.0	28.3	1.4
		(2)	順序数の理解	○		○		73.6	73.6	0.0	23.3	3.1
5	数と計算	(1)	題意を捉えた式の表現		○			76.4	72.3	4.2	21.2	2.3
	数量関係	(2)	帰納的な考え方をを用いて見いだしたさまりの説明【事実】		○			30.6	29.6	1.0	51.1	18.3
6	図形		直方体の面の形と数の理解	○		○		77.2	77.2	0.0	20.5	2.3
7	量と測定	(1)	時刻の読み取り	○		○		66.3	66.3	0.0	30.8	2.9
		(2)	時間の比較	○	○			75.2	75.2	0.0	21.2	3.6
8	数量関係	(1)	棒グラフの読み取り	○	○			74.6	74.6	0.0	20.4	5.0
		(2)	グラフの読み取りを根拠とした正しい理由の説明【理由】		○			30.2	16.3	14.0	55.1	14.6

《小学校第6学年 社会》

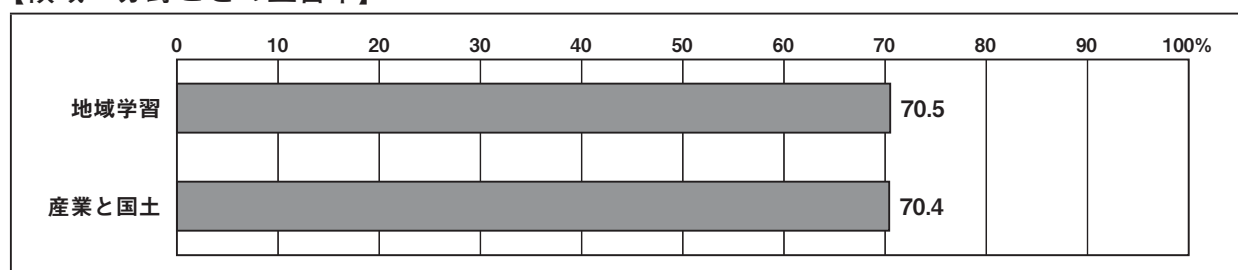
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,902人	70.4%	21.8問 / 31問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (1)①C	隣接した都道府県名 (富山県)	95.1
3 (2)②	火事が起きた時の協力機関 (警察署)	94.6
2 (1)②	世界の主な海洋 (インド洋)	92.6

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
6 (3)	店の取組 (ゴミを減らす工夫)	3.0
1 (2)	農業の課題 (販売農家)	16.5
5 (5)②	学習問題の設定	30.5

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
6 (3)	店の取組 (ゴミを減らす工夫)	12.2
6 (2)	消費者の願いと店の工夫 (産地)	10.4
5 (5)②	学習問題の設定	9.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[地域学習]

- ◎：石川県全体の地形や県庁所在地, 隣接する県について理解すること [1(1)①]
- ▼：資料を基に考察したことを, 適切に表現すること [1(2), 6(3)]

[産業と国土]

- ◇：自然災害の防止の取組について, 資料を基に考察したことを, 適切に表現すること [4(3)②]
- ◇：地図帳を活用して, 我が国の位置と領土について調べ, 適切に情報を読み取ること [2(2)]
- ▼：複数の資料を適切に関連付けて, 学習問題として表現すること [5(5)②]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

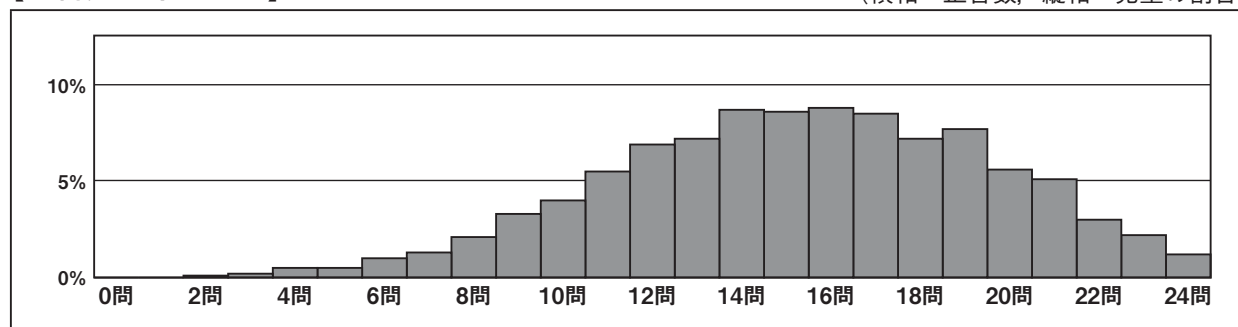
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）				
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	観 察・資料 活用 の技能	知 識・理 解 の技能	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	地域学習	(1)①A	石川県の自然（手取川）			○					
		(1)①B	石川県の県庁所在地（金沢市）			○	91.4	91.4	0.0	6.4	2.2
		(1)①C	隣接した都道府県名（富山県）			○	95.1	95.1	0.0	4.2	0.7
		(1)②	縮尺と方位の活用（加賀市）		○	○	68.8	68.8	0.0	28.0	3.2
		(1)③	石川県の交通（北陸自動車道）			○	92.2	92.2	0.0	5.2	2.5
		(2)	農業の課題（販売農家）		○	○	16.5	13.7	2.8	76.7	6.8
2	産業と国土	(1)①	緯度と経度（0度の経線）			○	80.0	80.0	0.0	19.2	0.8
		(1)②	世界の主な海洋（インド洋）			○	92.6	92.6	0.0	6.0	1.5
		(2)①	日本と周辺の国（距離）			○	76.4	76.4	0.0	22.9	0.6
		(2)②	日本と周辺の国（方位）			○	78.9	78.9	0.0	20.6	0.5
3	地域学習	(1)	火事が起きた時の連絡先（119番）	○		○	74.8	74.8	0.0	24.0	1.2
		(2)①	火事が起きた時の協力機関（消防署）			○	58.3	58.3	0.0	41.1	0.6
		(2)②	火事が起きた時の協力機関（警察署）			○	94.6	94.6	0.0	4.8	0.6
		(3)A	消防署の勤務の工夫（当番）		○	○	72.2	72.2	0.0	25.7	2.1
		(3)B	消防署の勤務の工夫（24時間）		○	○	73.1	73.1	0.0	24.0	2.9
4	産業と国土	(1)	森林資源の働き（水をたくわえる）			○	83.4	83.4	0.0	14.0	2.7
		(2)	森林資源の働き（漁業との関連）			○	58.9	58.9	0.0	39.9	1.2
		(3)①	自然災害の防止（防災マップ）		○	○	90.1	90.1	0.0	9.1	0.8
		(3)②	自然災害の防止（自助と共助）	○	○		77.0	71.6	5.4	19.7	3.3
5	産業と国土	(1)A	自動車工場の立地（高速道路）		○	○	56.7	53.9	2.7	40.1	3.3
		(1)B	自動車工場の立地（輸送）		○	○	41.9	33.8	8.1	52.0	6.1
		(2)	自動車の生産工程			○	69.7	69.7	0.0	29.0	1.2
		(3)	関連工場の仕事		○	○	77.5	77.5	0.0	21.0	1.6
		(4)	ハイブリッドカーの特徴		○	○	79.9	42.1	37.8	13.9	6.2
		(5)①C	国内生産台数の変化			○	53.9	53.9	0.0	42.6	3.6
		(5)①D	現地生産台数の変化			○	78.9	78.9	0.0	17.0	4.1
		(5)②	学習問題の設定	○	○		30.5	27.1	3.4	59.9	9.6
6	地域学習	(1)①	消費者の願いと店の工夫			○	90.3	90.3	0.0	5.8	4.0
		(1)②	消費者の願いと店の工夫			○	90.9	90.9	0.0	4.7	4.5
		(2)	消費者の願いと店の工夫（産地）		○	○	45.3	43.2	2.1	44.3	10.4
		(3)	店の取組（ごみを減らす工夫）		○	○	3.0	2.7	0.3	84.7	12.2

《小学校第6学年 理科》

抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,901 人	63.9%	15.3 問 / 24 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】

領域・分野	正答率 (%)
物質・エネルギー (エネルギー)	70.1
物質・エネルギー (粒子)	57.7
生命・地球 (生命)	73.0
生命・地球 (地球)	52.2

【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1) メダカの雌雄	96.4
2	3(2)① 乾電池と電流の関係	84.6
3	6(3) 条件に着目した実験方法【構想】	84.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(2) 電気を通すものと磁石につくもの【分析】	28.5
2	2(2) 閉じ込めた空気と水の体積変化	30.1
3	7(1) 天気の見分け方	40.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(4) 種子に含まれるでんぷんの働き	5.1
2	3(2)② 乾電池, 電流, モーターの回る向きの関係	4.3
3	5(1) 器具の名称	4.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【物質・エネルギー】

- ：電池の向きを変えるとモーターの回り方が変わることを理解すること〔3(2)①〕
- ◇：物が水に溶ける量について、グラフから水の温度と関係付けて考えること〔5(3)〕
- ▼：モーターの回る向きを乾電池のつなぎ方や回路を流れる電流の向きと関係付けて説明すること〔3(2)②〕
- ▼：閉じ込めた空気や水を押し当てたときの現象を、それぞれの性質と関係付けて考えること〔2(2)〕

【生命・地球】

- ▽：時間の変化によって、地面にできる影の位置がどのように変化するかを考えること〔4(3)〕
- ▽：目的に応じて、調べる条件と同じにする条件を制御を考え、適切でない点を指摘すること〔6(2)〕
- ▼：植物は、種子の中ででんぷんを使って発芽することを説明すること〔6(4)〕
- ▼：1日の気温の変化の仕方は天気によって違いがあることを理解すること〔7(3)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

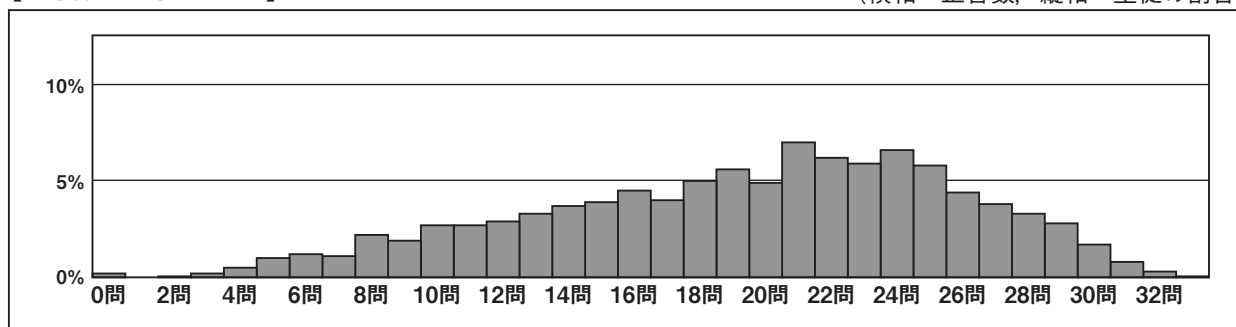
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	自 然 事 象 へ の	科 学 的 な 思 考 ・ 表 現	観 察 ・ 実 験 の 技 能	知 識 ・ 理 解	自 然 事 象 に つ い て の	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答
1	生命・地球 (生命)	(1)	メダカの雌雄	○			○	96.4				
		(2)	顕微鏡の使い方	○		○		57.3	57.3	0.0	42.6	0.2
		(3)	水中の小さな生き物【分析】			○		82.5	73.5	9.0	15.9	1.6
2	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	空気の性質				○	74.7	74.7	0.0	25.1	0.2
		(2)	閉じ込めた空気と水の体積変化			○		30.1	30.1	0.0	69.6	0.3
		(3)	空気, 水の体積と温度の関係【適用】			○		83.2	83.2	0.0	15.5	1.3
3	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)	乾電池のつなぎ方	○			○	58.3	58.3	0.0	41.5	0.2
		(2)①	乾電池と電流の関係				○	84.6	84.6	0.0	14.6	0.8
		(2)②	乾電池, 電流, モーターの回る向き の関係			○		41.9	15.6	26.3	53.8	4.3
4	生命・地球 (地球)	(1)	太陽の動きと方位				○	41.9	41.9	0.0	56.2	1.9
		(2)	太陽と影の位置関係【適用】	○	○			46.3	46.3	0.0	53.2	0.6
		(3)	時間による太陽の動きと影の変化 【適用】	○	○			67.1	67.1	0.0	32.2	0.7
5	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	器具の名称				○	79.8	79.8	0.0	16.1	4.2
		(2)	溶ける限度【適用】	○	○			80.9	80.9	0.0	18.7	0.4
		(3)	溶ける量と温度の関係【分析】			○		71.9	71.9	0.0	27.6	0.5
6	生命・地球 (生命)	(1)	植物が発芽するときの条件				○	77.8	77.8	0.0	21.6	0.5
		(2)	条件制御【改善】	○		○		63.5	63.3	0.2	34.0	2.5
		(3)	条件に着目した実験方法【構想】	○	○			84.5	84.5	0.0	14.6	0.9
		(4)	種子に含まれるでんぶんの働き			○		49.1	16.7	32.3	45.8	5.1
7	生命・地球 (地球)	(1)	天気の見分け方				○	40.7	40.7	0.0	58.0	1.3
		(2)	気温の測り方				○	72.1	69.3	2.8	24.0	3.9
		(3)	1日の気温の変化と天気の関係				○	45.0	44.6	0.3	53.7	1.3
8	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)	磁石の性質【分析】	○	○			75.4	75.4	0.0	21.8	2.8
		(2)	電気を通すものと磁石につくもの 【分析】	○	○			28.5	28.5	0.0	69.5	2.0

《中学校第3学年 社会》

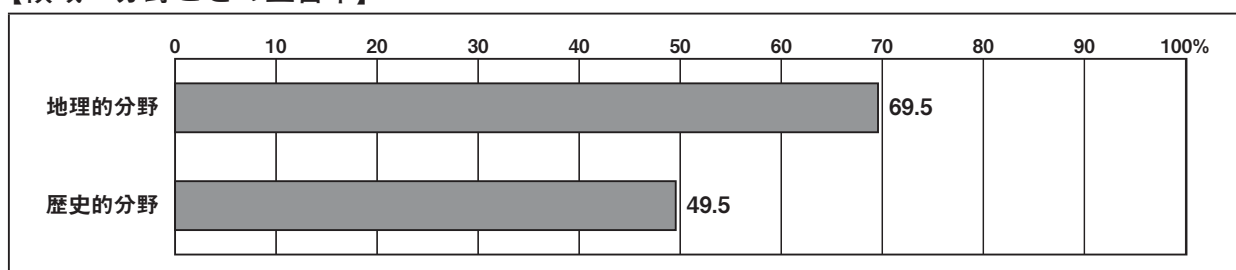
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,514 人	58.6%	19.3 問 / 33 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)A	六大陸 (ユーラシア大陸)	97.1
2	4(2)	日本の地形の特色 (日本アルプス)	87.5
3	1(4)①	アフリカの国境の決まり方	85.8

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(4)②	アフリカの公用語の歴史	5.9
2	5(3)③	日本の近代化 (選挙の意義)	17.2
3	1(5)	ナイジェリアの経済 (原油)	27.2

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(3)③	日本の近代化 (選挙の意義)	23.7
2	2(3)	歴史上の事象 (大宝律令)	18.6
3	2(6)	歴史上の事象 (遣唐使の停止の理由)	16.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ◇：野菜生産の特色を, 複数の資料から読み取ったことを基に考察すること [4(4)④]
- ▼：アフリカの公用語選定の理由を, 資料を基に読み取り, 適切に表現すること [1(4)②]

【歴史的分野】

- ◇：近代の基礎・基本となる歴史的事象について理解すること [5(1)①]
- ▼：古代の基礎・基本となる歴史的事象について理解すること [2(1), 2(3)]
- ▼：立憲制国家の成立について, 複数の資料から読み取ったことを基に考察すること [5(3)③]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

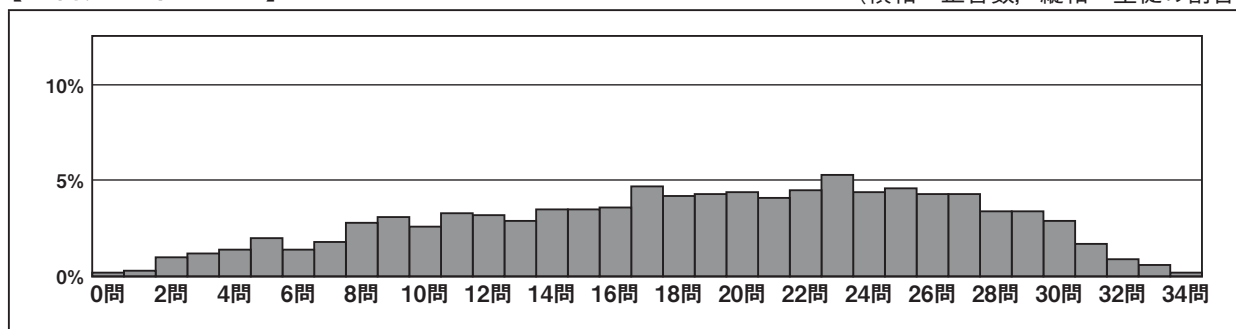
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）						
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	資 料 活 用 の 技 能	知 識 ・ 理 解 の 能 力	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答		
1	地理的分野	(1)A	六大陸（ユーラシア大陸）	○								○	97.1
		(1)B	三大洋（太平洋）	○			○	74.8	74.8	0.0	24.8	0.4	
		(2)	本初子午線（位置と都市）				○	85.4	85.4	0.0	14.6	0.0	
		(3)ア	世界の気候の特色（熱帯）				○	70.0	70.0	0.0	29.2	0.8	
		(3)イ	世界の地形（アンデス山脈）				○	51.9	51.9	0.0	44.3	3.9	
		(4)①	アフリカの国境の決まり方				○	85.8	85.8	0.0	14.2	0.0	
		(4)②	アフリカの公用語の歴史			○	○	5.9	4.1	1.8	90.0	4.1	
		(5)	ナイジェリアの経済（原油）			○	○	27.2	15.8	11.4	64.8	8.0	
2	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（阿倍仲麻呂）				○	33.9	33.9	0.0	66.1	0.0	
		(2)	歴史上の事象（遣唐使の航路）			○	○	36.4	25.9	10.5	50.9	12.8	
		(3)	歴史上の事象（大宝律令）	○			○	38.7	38.7	0.0	42.7	18.6	
		(4)	歴史上の事象（天平文化）				○	○	63.6	63.6	0.0	36.4	0.0
		(5)	歴史上の事象（真言宗・金剛峯寺）				○	32.5	32.5	0.0	67.5	0.0	
		(6)	歴史上の事象（遣唐使の停止の理由）			○	○	33.9	30.4	3.5	49.3	16.7	
3	歴史的分野	(1)①	歴史上の人物（足利義満）	○			○	53.1	53.1	0.0	46.9	0.0	
		(1)②	歴史上の事象（勘合）				○	○	47.6	47.6	0.0	37.1	15.4
		(2)	歴史上の事象（南蛮人来航）			○	○	55.8	55.8	0.0	44.2	0.0	
		(3)	歴史上の事象（江戸幕府）				○	81.3	81.0	0.3	14.4	4.3	
		(4)①	開国の影響（物価の上昇）			○	○	45.1	38.7	6.4	48.0	6.9	
		(4)②	開国の影響（幕府への不満）			○	○	36.4	15.4	20.9	49.1	14.5	
4	地理的分野	(1)	日本の気候の特色（季節風）				○	○	82.9	82.9	0.0	16.1	1.0
		(2)	日本の地形の特色（日本アルプス）	○			○	87.5	87.5	0.0	9.0	3.5	
		(3)	日本の周辺の海流（日本海流）				○	○	72.6	72.6	0.0	27.4	0.0
		(4)①	日本の地域区分（中部地方）				○	○	77.9	77.9	0.0	22.1	0.0
		(4)②	日本の産業の特色（学習課題づくり）			○	○	72.2	69.9	2.3	21.9	5.9	
		(4)③	日本の産業の特色（抑制栽培）				○	71.4	68.5	2.9	23.0	5.6	
		(4)④	日本の産業の特色（愛知県の農業）			○	○	79.4	79.4	0.0	20.6	0.0	
5	歴史的分野	(1)①	歴史上の事象（廃藩置県）				○	78.7	78.7	0.0	21.3	0.0	
		(1)②	歴史上の事象（地租改正）				○	○	46.8	46.8	0.0	46.2	7.0
		(2)	歴史上の事象（国境の画定）			○	○	56.9	56.9	0.0	43.1	0.0	
		(3)①	歴史上の事象（自由民権運動）				○	○	69.3	69.3	0.0	21.8	9.0
		(3)②	歴史上の人物（西郷隆盛）	○			○	64.7	64.7	0.0	22.4	12.9	
		(3)③	日本の近代化（選挙の意義）			○	○	17.2	15.1	2.1	59.1	23.7	

《中学校第3学年 理科》

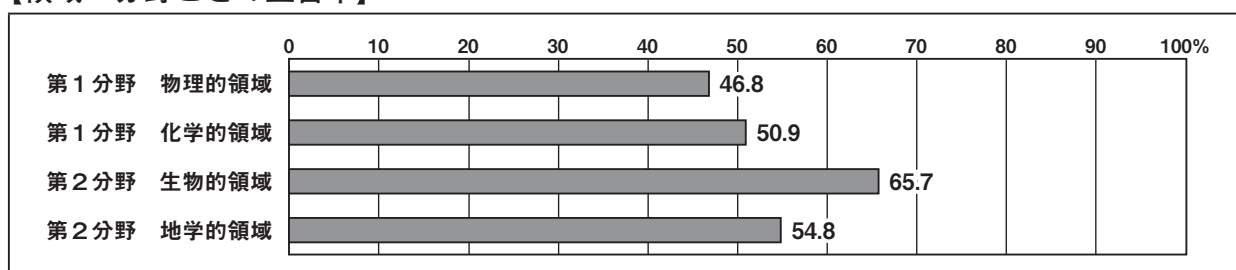
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,516人	54.7%	18.6問 / 34問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(3) 葉緑体	92.8
2	5(1)名称 赤血球	86.8
3	5(1)記号 赤血球の形	86.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	7(3) 交流の性質	11.8
2	7(4) 電流がつくる磁界と電磁誘導【適用】	15.3
3	6(2) 溶解度曲線と再結晶【分析・解釈】	26.0

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	7(4) 電流がつくる磁界と電磁誘導【適用】	31.2
2	7(3) 交流の性質	30.2
3	6(4) 水溶液中の物質の割合【適用】	18.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【第1分野】

- ▽：化学変化をモデルで表現すること〔3(2)〕
- ▼：条件を制御し、実験を構想すること〔2(3)〕
- ▼：溶解度をもとに、水溶液の温度を下げたときの溶質の質量の変化を考えること〔6(2)〕
- ▼：電流の変化と、コイルの中の磁界の変化について関連付けて考えること〔7(4)〕

【第2分野】

- ◇：血液と細胞との間での物質のやり取りを理解すること〔5(3)〕
- ◇：大地に力がはたらいてできる地層のずれが、断層であることを理解すること〔8(3)〕
- ▼：実験の条件と結果を関係付けて考えること〔1(2)〕
- ▼：気象要素の変化から、寒冷前線の通過を見いだすこと〔4(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	正答率	正答	準正答	誤答	無解答	
1	第2分野 生物学的領域	(1)	対照実験			○						81.0
		(2)	実験の条件と結果の関係【分析・解釈】		○		30.8	30.8	0.0	69.2	0.0	
		(3)	葉緑体			○	92.8	92.8	0.0	5.1	2.0	
		(4)	植物の呼吸を調べるための実験条件【構想】		○	○		50.0	49.7	0.2	47.9	2.2
2	第1分野 物理的領域	(1)名称	振動数			○	56.1	56.1	0.0	35.7	8.1	
		(1)単位	ヘルツ			○	67.9	9.2	58.7	20.3	11.7	
		(2)	弦の長さと言の高さとの関係と、音の波形			○	52.8	52.8	0.0	47.2	0.0	
		(3)	弦の張りの強さと音の高さの関係を調べるための条件制御【構想】	○		○		29.8	18.0	11.8	63.4	6.8
		(4)	モノコードとギターの関係【適用】	○	○			82.6	82.6	0.0	17.4	0.0
3	第1分野 化学的領域	(1)	水の電気分解で発生する気体			○	74.8	74.7	0.1	23.4	1.8	
		(2)	水の分解のモデル【適用】		○		61.2	61.2	0.0	29.0	9.8	
		(3)	水の分解の化学反応式			○	53.7	53.7	0.0	31.8	14.5	
		(4)	単体			○	46.0	46.0	0.0	44.6	9.3	
4	第2分野 地学的領域	(1)	天気図の記号			○	55.0	55.0	0.0	43.2	1.8	
		(2)気温	気象要素の変化と寒冷前線		○		55.2	54.7	0.5	35.1	9.7	
		(2)風向	気象要素の変化と寒冷前線		○		50.0	49.0	1.0	39.7	10.3	
		(3)	気象要素の変化と天気図【分析・解釈】		○		53.2	53.2	0.0	44.2	2.5	
5	第2分野 生物学的領域	(1)名称	赤血球			○	86.8	86.8	0.0	10.0	3.2	
		(1)記号	赤血球の形			○	86.1	86.1	0.0	13.9	0.0	
		(2)	ヘモグロビンの性質			○	34.6	31.0	3.6	49.1	16.3	
		(3)	血液と細胞との間の物質のやり取り			○	70.5	70.5	0.0	29.5	0.0	
		(4)	血液の循環と血液中の物質【適用】		○			58.8	58.8	0.0	41.2	0.0
6	第1分野 化学的領域	(1)	質量パーセント濃度の計算			○	42.1	42.1	0.0	52.6	5.3	
		(2)	溶解度曲線と再結晶【分析・解釈】		○		26.0	26.0	0.0	74.0	0.0	
		(3)	再結晶の方法			○	55.1	20.8	34.3	35.1	9.8	
		(4)	水溶液中の物質の割合【適用】	○	○			48.1	48.1	0.1	33.6	18.2
7	第1分野 物理的領域	(1)	電気抵抗の値			○	61.0	61.0	0.0	33.1	5.9	
		(2)	誘導電流			○	44.0	44.0	0.0	39.0	17.1	
		(3)	交流の性質			○	11.8	11.8	0.0	58.0	30.2	
		(4)	電流がつくる磁界と電磁誘導【適用】	○	○			15.3	15.2	0.0	53.5	31.2
8	第2分野 地学的領域	(1)	主要動			○	66.2	66.2	0.0	26.4	7.4	
		(2)	地震計の記録と震源からの距離【分析・解釈】		○		53.3	34.7	18.6	39.2	7.5	
		(3)	断層			○	72.0	72.0	0.0	16.9	11.1	
		(4)	観察記録と断層モデルの比較【分析・解釈】		○	○		33.6	33.6	0.0	66.4	0.0

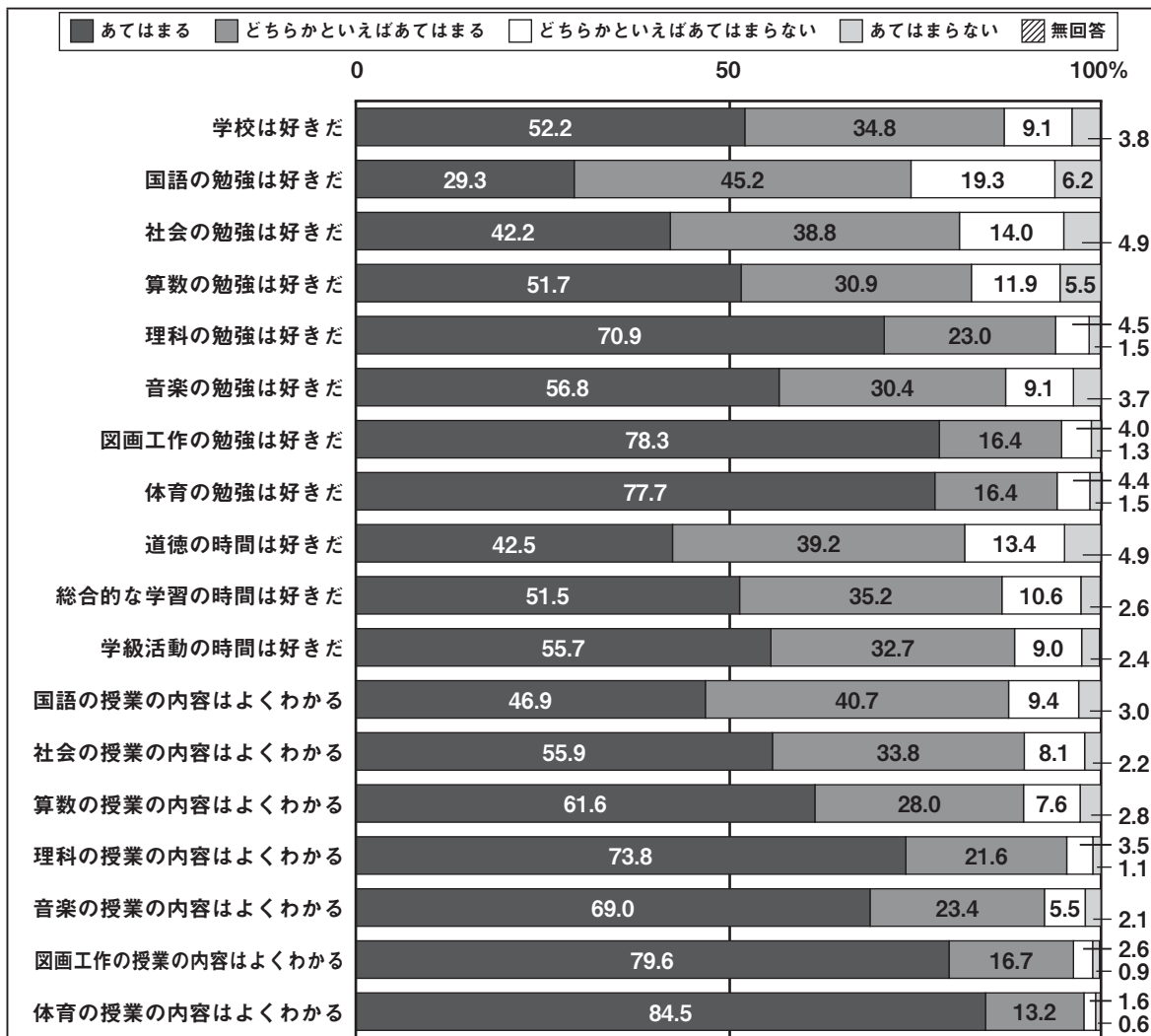
2 質問紙調査結果

※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：201校（4,289人）

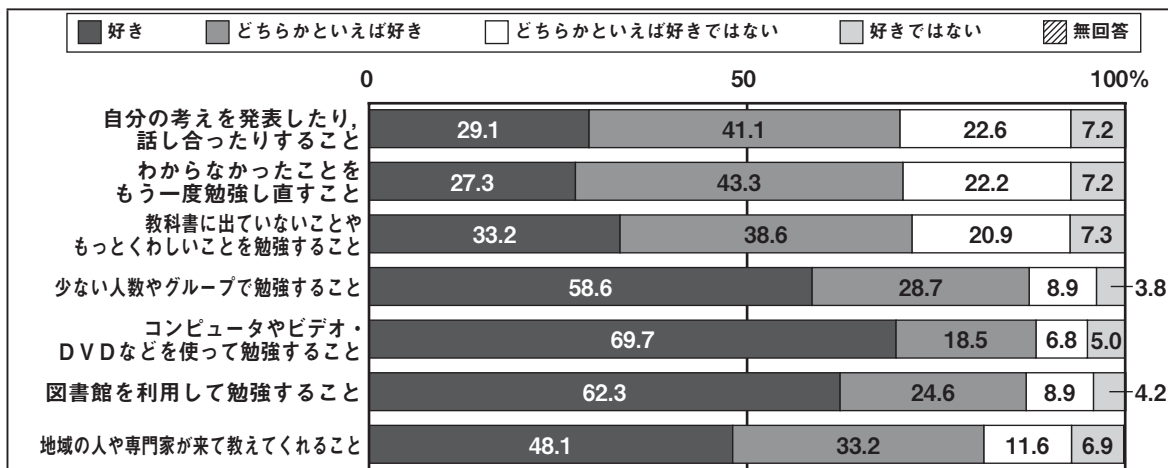
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



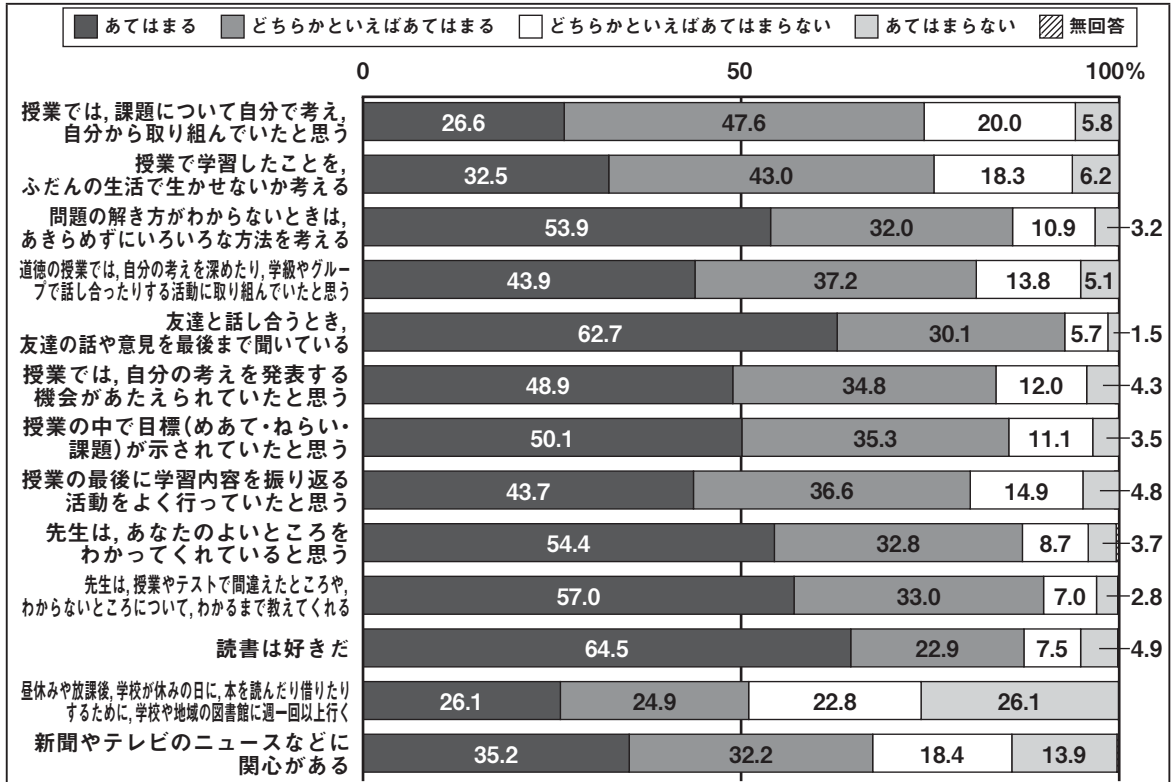
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



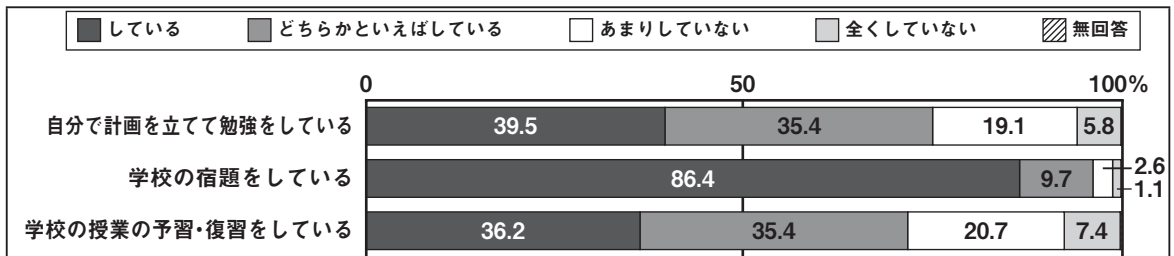
3

次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



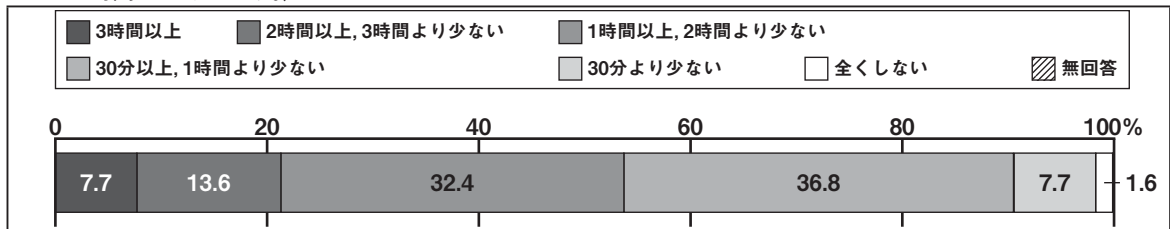
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。

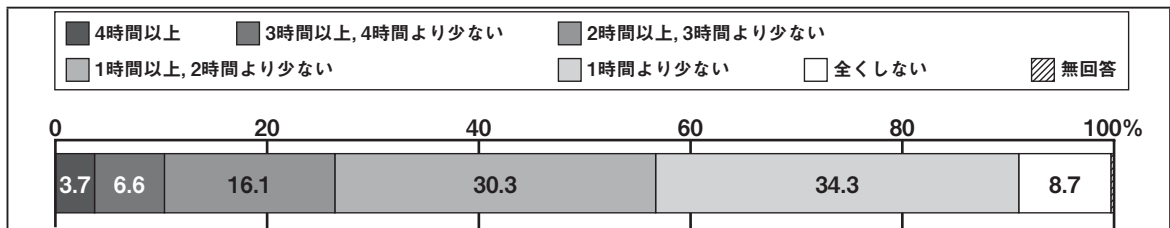


5

(1) あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）

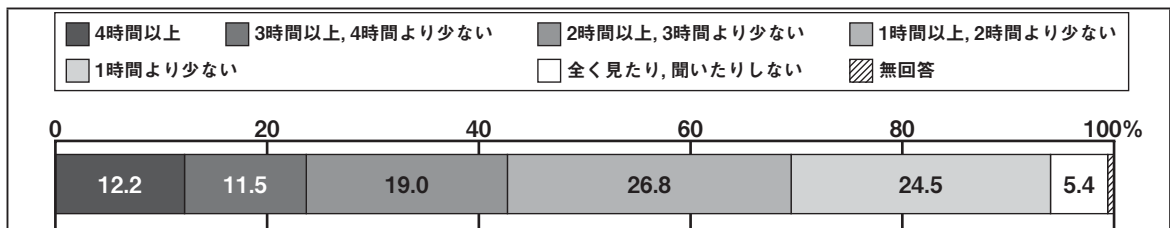


(2) あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）

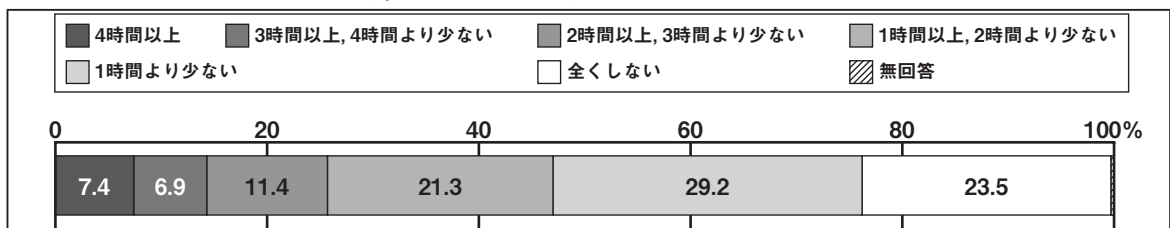


6

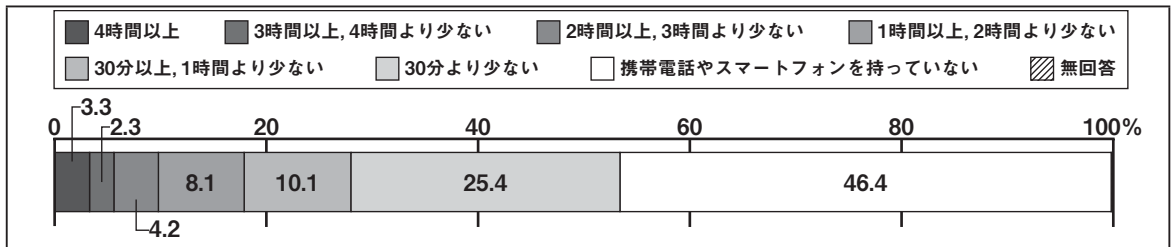
(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。）



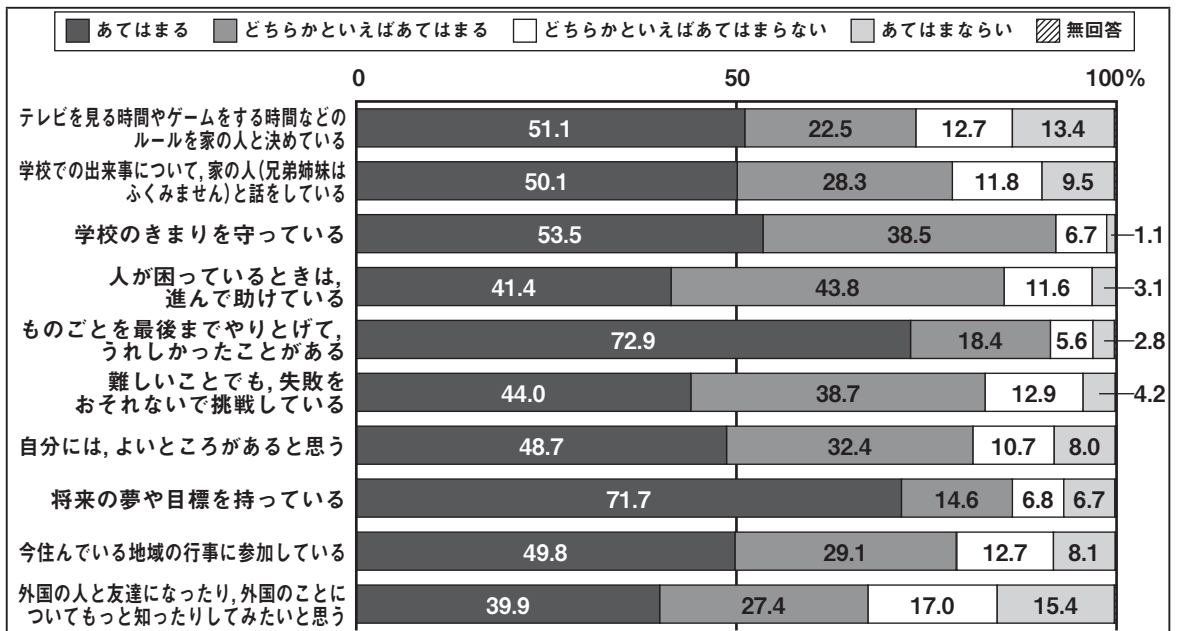
(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくみます。）をしますか。



(3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンなどを使ってゲームをする時間はのぞきます。）

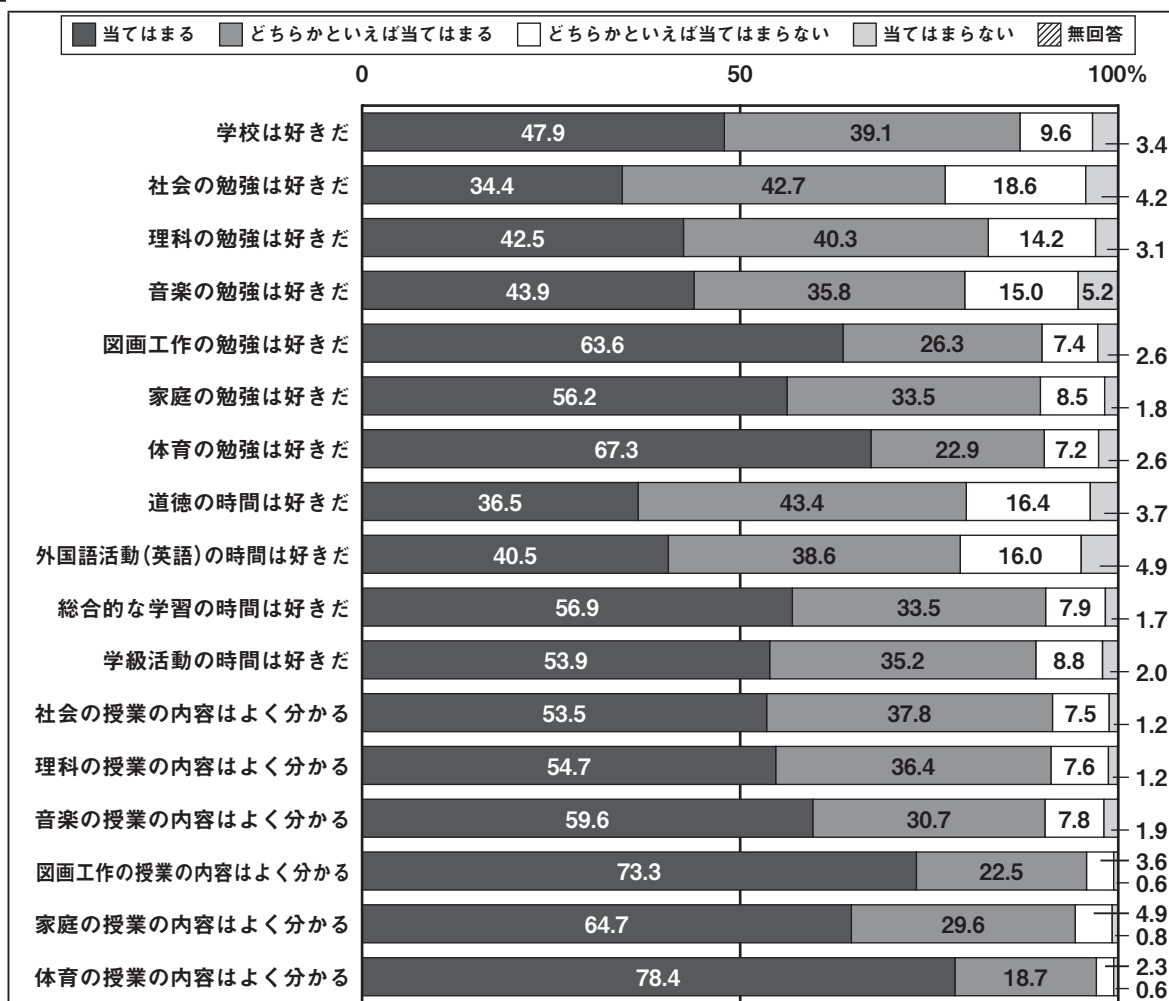


7 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

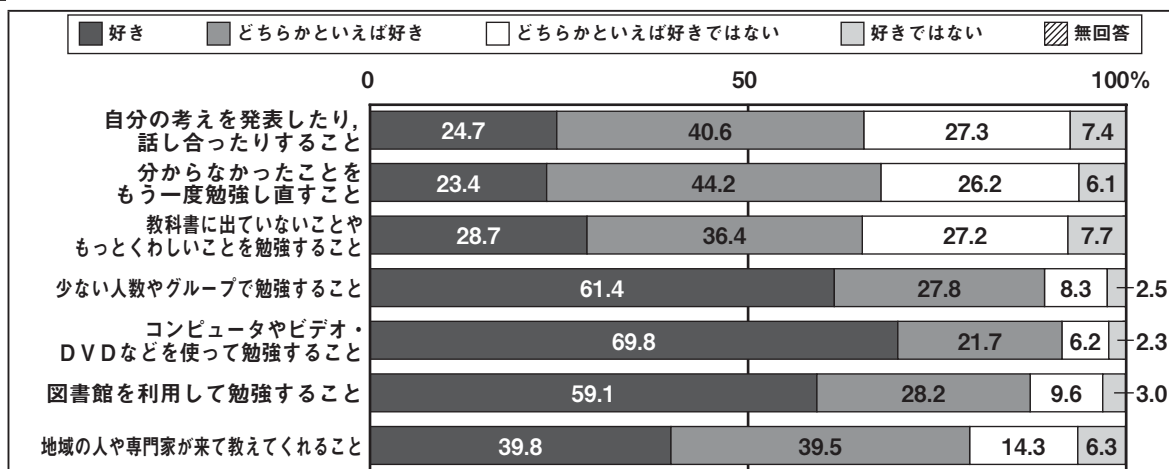


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：201校（4,904人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

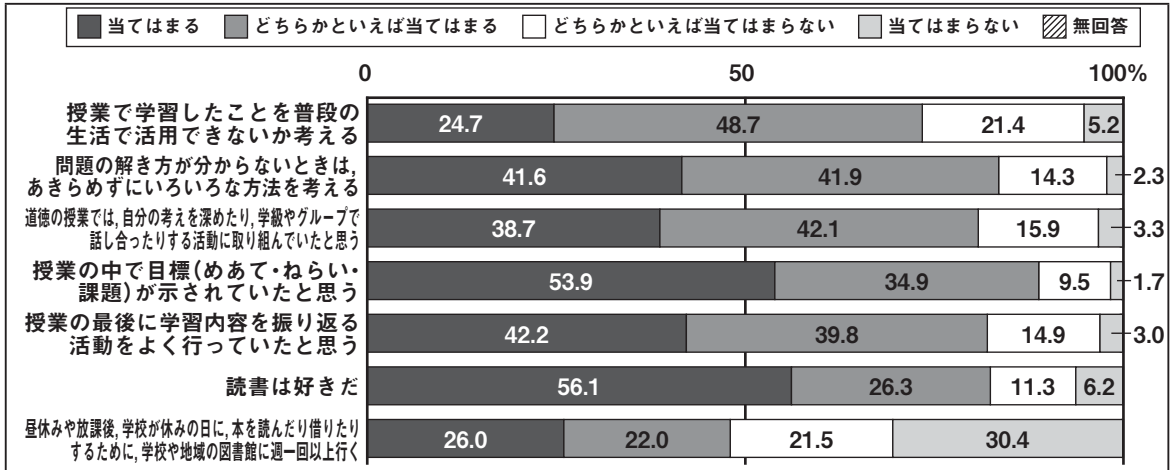


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



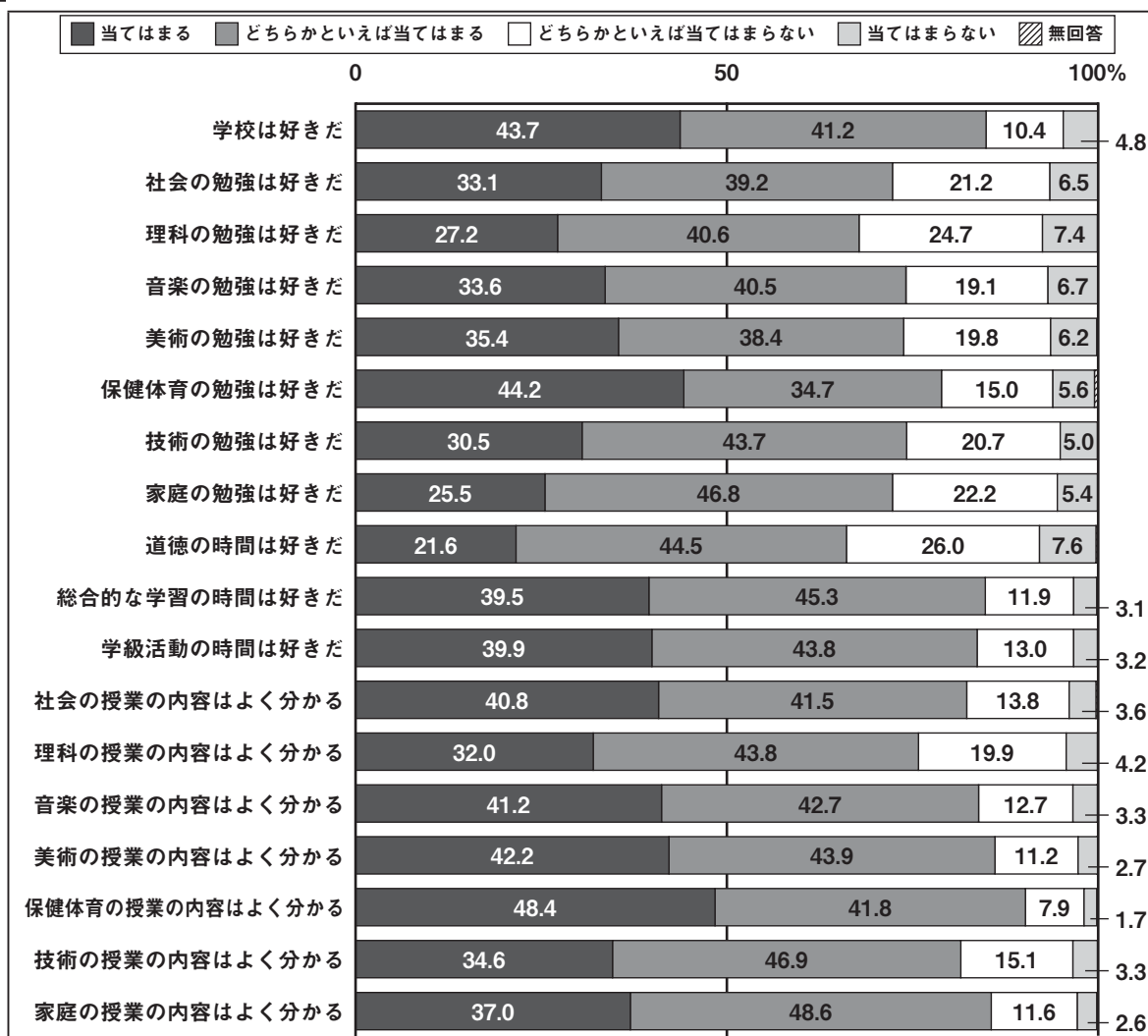
3

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

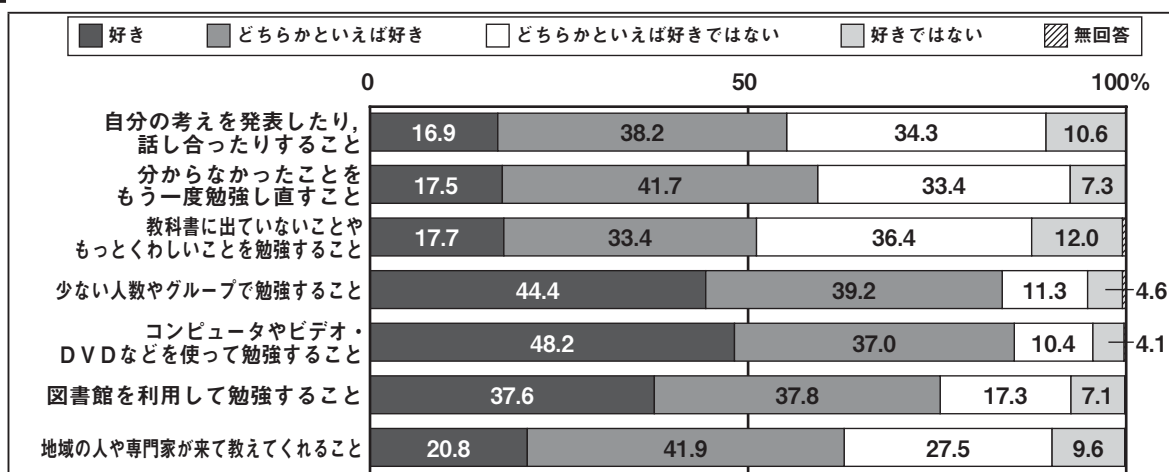


《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：82校（2,519人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

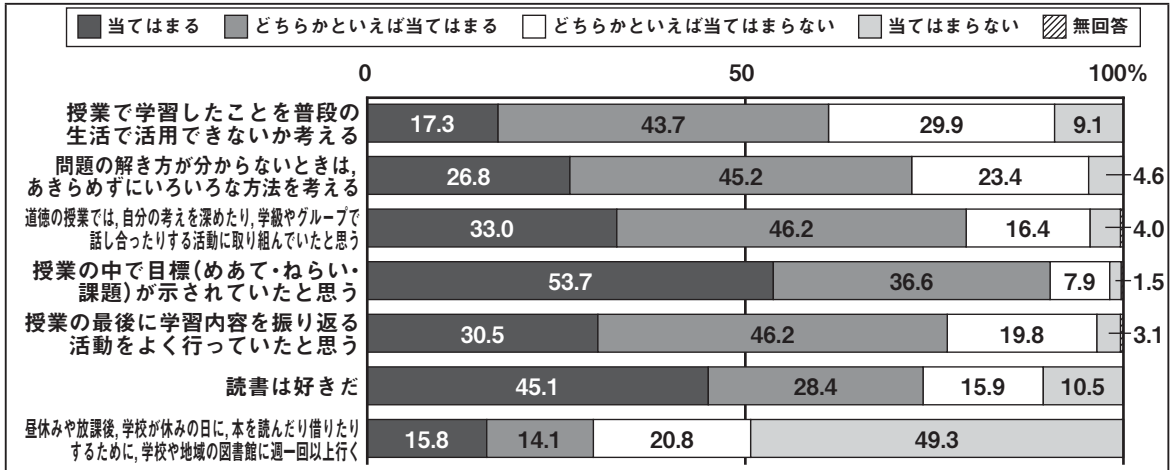


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

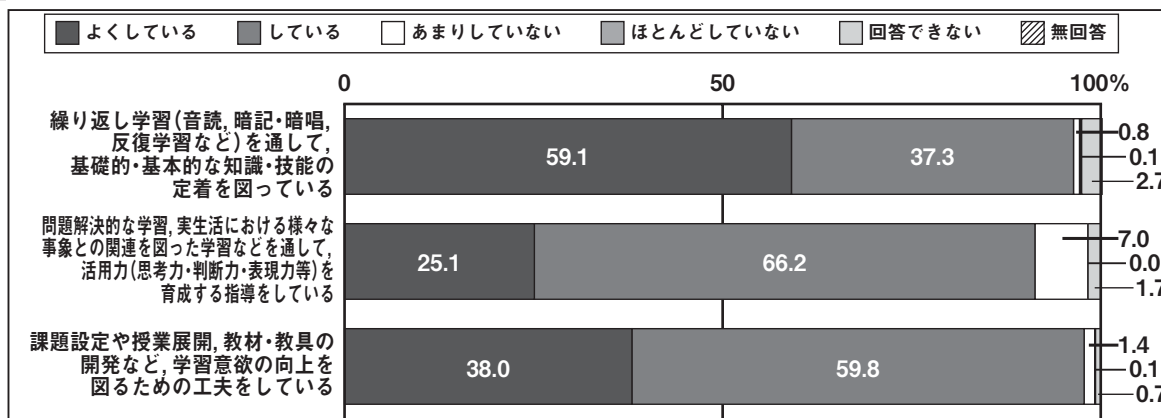
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



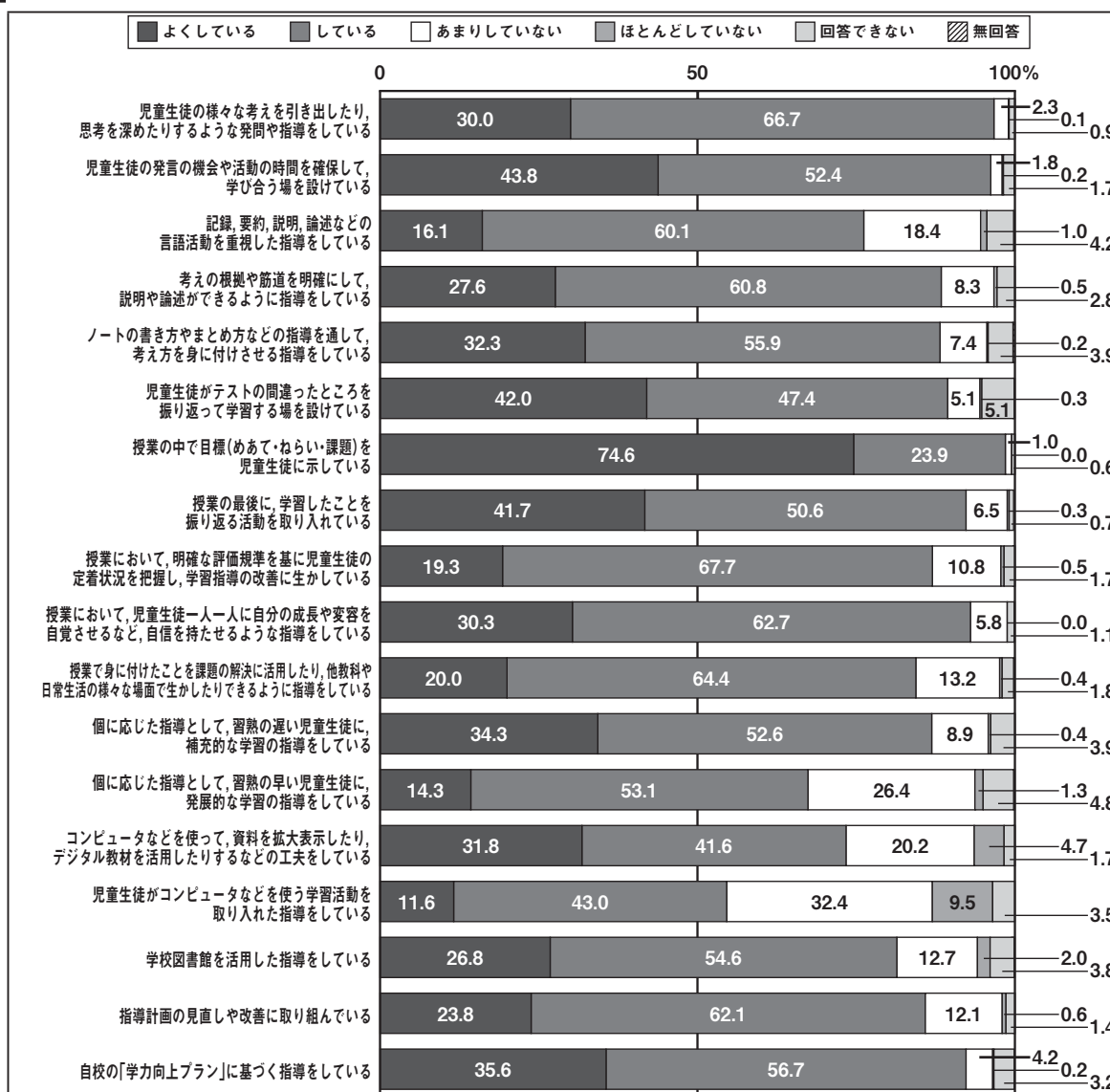
《小学校教員》 抽出校数（教員数）：68校（1,089人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること



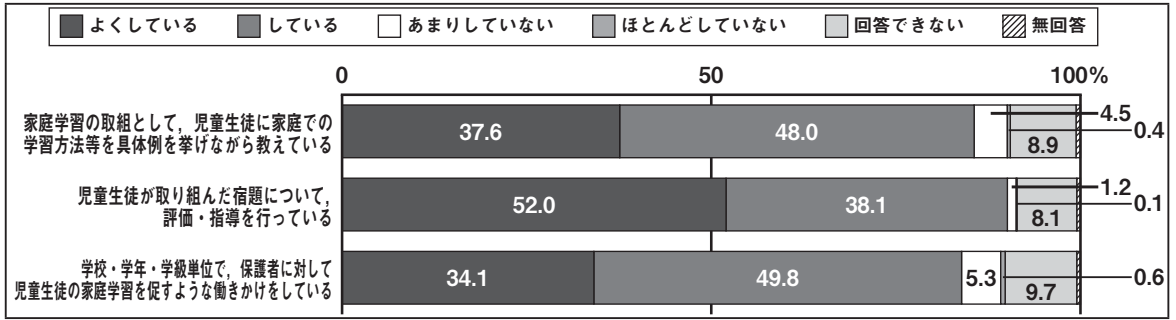
2 教科等に関すること



※ここでの「コンピュータなど」とは、パソコン（タブレット端末を含みます。）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指します。

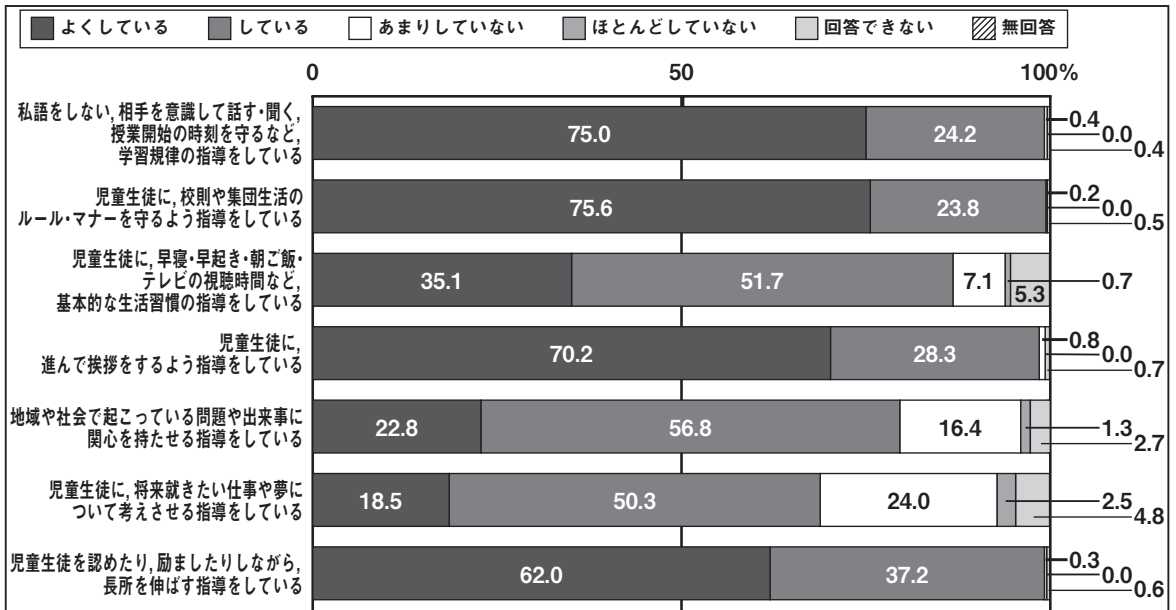
3

家庭学習に関すること



4

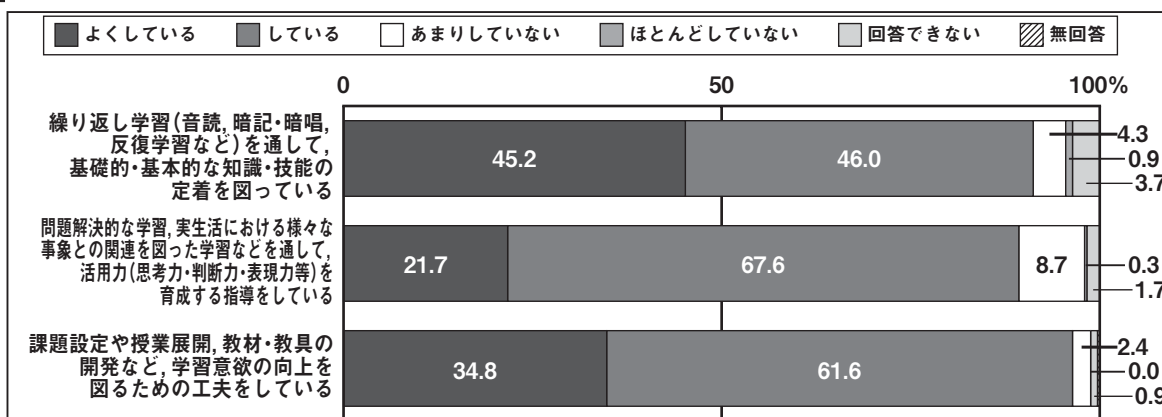
学習規律等に関すること



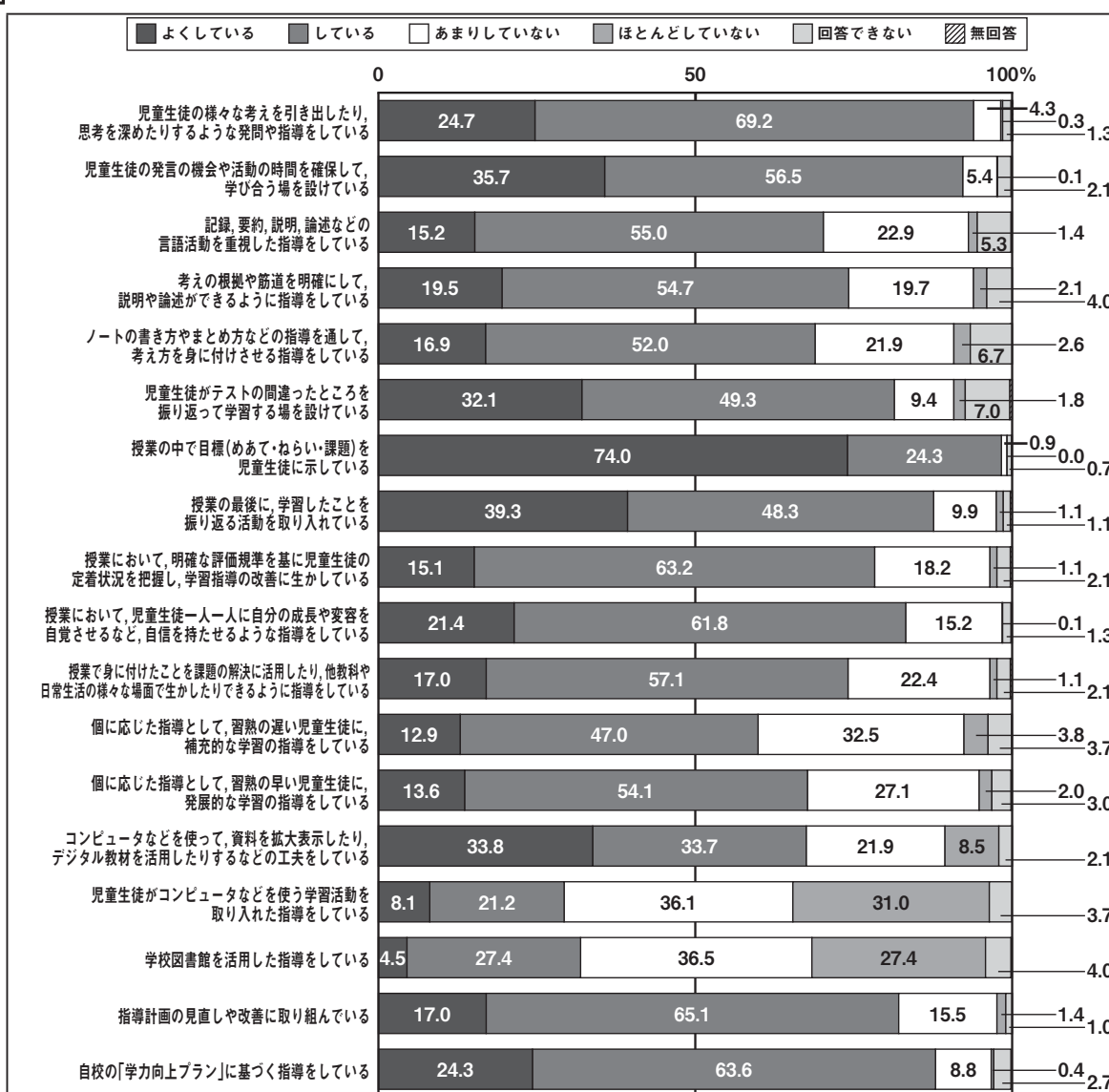
《中学校教員》 抽出校数（教員数）：32校（704人）

次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること



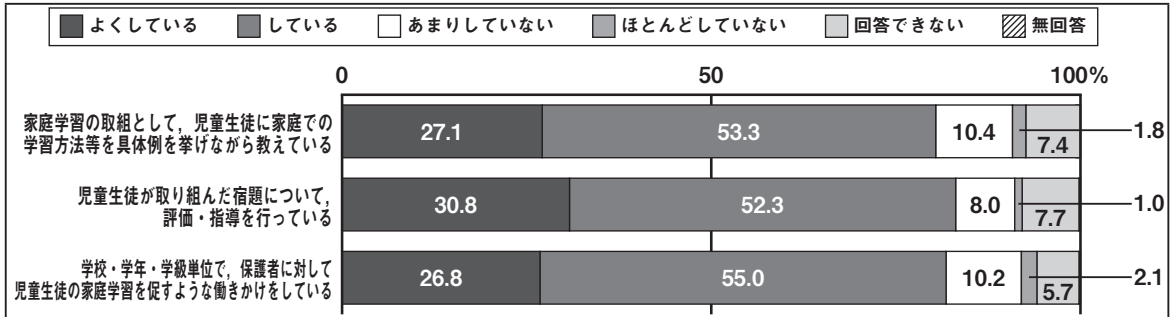
2 教科等に関すること



※ここでいう「コンピュータなど」とは、パソコン（タブレット端末を含みます。）、電子黒板、実物投影机、プロジェクター、インターネットなどを指します。

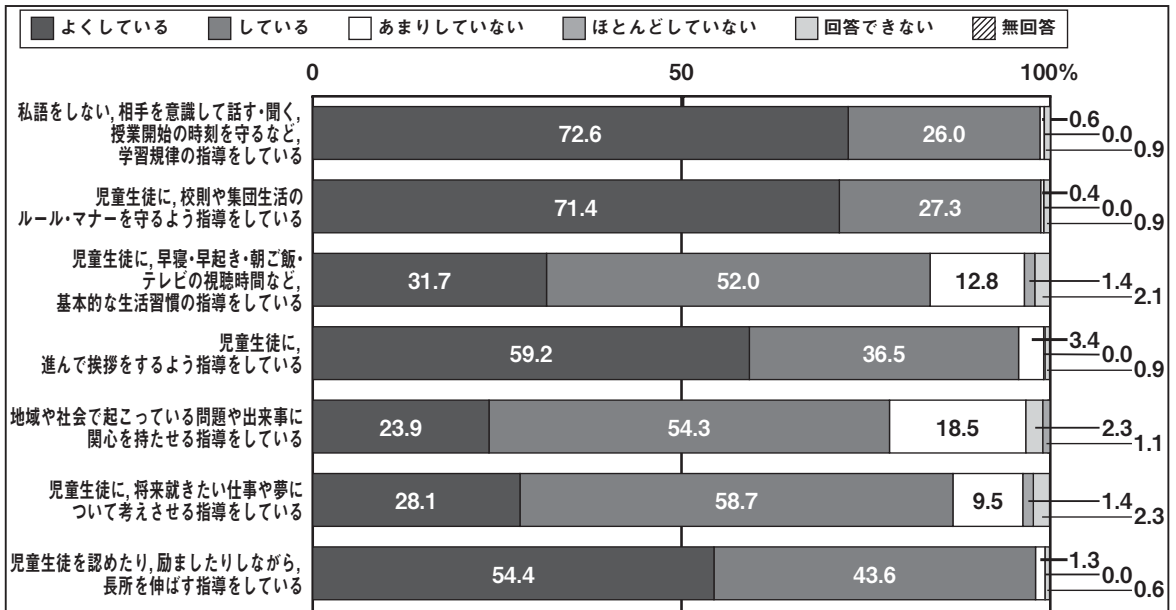
3

家庭学習に関すること



4

学習規律等に関すること



平成 31 年度（令和元年度）
「基礎学力調査」—結果の概要—
令和元年 7 月発行
石川県教育委員会事務局学校指導課
〒 920-8575 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
TEL.076-225-1827
e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp